

# 華コンサート — 凛と咲く山茶花 — 「昆劇 牡丹亭・遊園」



場所 **大和文華館・講堂**

日時 **2016年11月5日(土)**  
13:00~13:40 (開場 12:40)

※入館料(930円)が必要です。

※当日10時から受付で配布する整理券が必要です。  
先着150名で入場制限をいたします。



## ■出演■

■妙啼曲社 (みょうていきょくしゃ)

演者：三野雄一郎 前田尚香

伴奏：村田順一(笛) 釋百恵(打楽器)

内匠仁(中阮) 清水久恵(二胡)

## ■演者プロフィール■

■三野 雄一郎 (みの・ゆういちろう)

北京留学中、北方昆曲劇院の名優で国家一級俳優の張毓文女史に師事。中国でも数少ない昆曲の女形として研鑽を積んだ。

■前田 尚香 (まえだ・ひさか)

北京留学中に昆曲と出会い、張毓文女史に弟子入りを認められる。後には「昆劇皇后」と称される大女優・張継青女史にも薫陶を受けた数少ない日本人昆曲女優。

◆主 催：大和文華館

◆共 催：NPO法人奈良芸能文化協会

◆協力・企画：奈良市国際音楽交流協議会(ならイメック)

## 《展覧会》

2016年10月8日(土)~11月13日(日)

特別展

「呉越国 — 西湖に育まれた文化の精粹 —」

〈次回予定〉

2016年11月26日(土) 13:00~13:40

パロックフルート・アンサンブル

「錦秋を彩る紅葉」

出演：グロッケン

## ■昆劇とは■

明・万暦年間から清・乾隆年間までの約200年の間、中国全土で大流行した演劇です。明の音楽家である魏良輔が、自分の住んでいた江蘇省昆山一帯で歌われていた曲調に、北方音楽の調子を加えて「水磨調」という曲調を編み出しました。「水磨調」は瞬く間に広がり、のちに発祥地にちなんで「昆山腔」と呼ばれました。この「昆山腔」で演じられるお芝居を「昆劇」「昆曲」と称したのです。演奏は曲笛(横笛)を主体に、単皮鼓、笙、琵琶、楊琴、二胡、三弦などを用います。また演者は舞いながら歌う、難易度の高い演技が求められます。

## ■プログラム■

### 《牡丹亭・遊園》

東洋のシェイクスピアとも称される明代の大劇作家、湯顯祖(1550~1616)の代表作です。

### 〈あらすじ〉

時は南宋時代。南安太守・杜宝の娘である杜麗娘は、ある日侍女の春香に伴われ、初めて自宅の花園へ出かけます。誰もいない花園では春爛漫に花々が咲きほこり、こわれた井戸やくずれた垣根、苔むした池までが、家の外に出たことになかった杜麗娘には新鮮に映ります。うらかな春景色に感激していた杜麗娘ですが、つがいの燕や鶯の楽しげな様子を見て、年ごろを迎えた自分が無為に青春を過ごしているのでは…という思いにとらわれ、もの悲しい気持ちで自室へと戻ります。

## 大和文華館

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

TEL (0742)45-0544

大和文華館

検索

アクセス：近鉄奈良線(学園前駅)下車  
南出口より徒歩約7分  
無料駐車場あり

